

# カシオの環境配慮型製品

商品が環境に与える負荷を最小にするために、企画、デザイン、設計など、さまざまな点から環境に配慮した商品開発を行っています。

グリーン購入法適合電卓



電子辞書



このマークは、グリーンスターコンセプトに基づき開発された商品であることを表します。

デジタルカメラ



データプロジェクター



上記はグリーンスター商品の一例です。

## ■小型・軽量・薄型・省電力の歴史

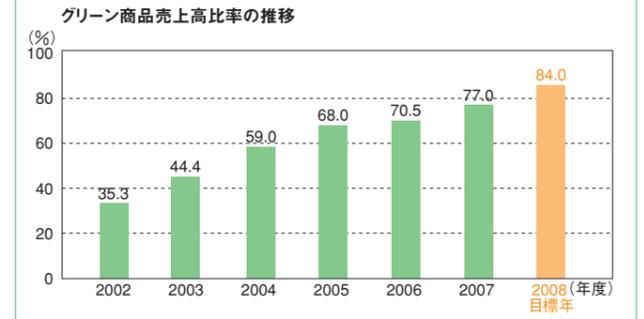
カシオは製品の小型化によって、製品の環境負荷を小さくしてきました。最初の計算機「14-A」は重量が140kgありましたが、計算回路をLSI化した「カシオミニ」では315gとなり、カードサイズ電卓「SL-800」では「14-A」の1万分の1以下の12gにまで小型化。他の分野でも、高機能な製品をより小さくして、使う資源の量を減らし、輸送エネルギーも節減してきました。

製品の消費電力も、回路技術の改良の積み重ねによって、大きく低減させてきました。家庭用100V電源で動いていた「14-A」が、「カシオミニ」では電池駆動となり、「SL-800」ではソーラー駆動に。「SL-800」の消費電力はわずか0.02mWで、これは「14-A」の1500万分の1に相当します。



## ■「カシオグリーン商品」の売上比率目標を達成

2001年度より、カシオは環境配慮型商品づくり促進のため「カシオグリーンプロダクツ(C.G.P.)活動」を開始。新商品を対象に環境への影響を事前評価する製品環境アセスメントの結果をもとに、環境適合基準を満たした商品を「カシオグリーン商品」として認定し、2008年度までに「カシオグリーン商品」売上比率を80%にする目標を掲げました。そして目標年度の2008年度には、売上比率が目標を超える84%に達しました。



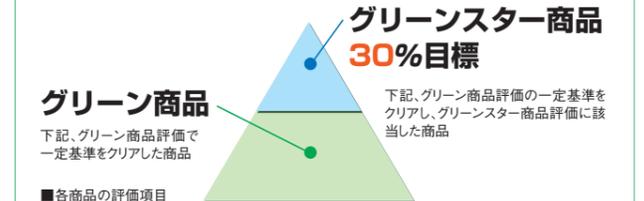
## ■カシオグリーンスター商品

2009年度からの新たな目標として「カシオグリーン商品」の中から、特に環境配慮性の高い商品を「カシオグリーンスター商品」と認定する取り組みを制定しました。商品のライフサイクルごとの環境側面に対して、グリーンスター商品の判定基準となる高いハードルを設定し、そこに挑戦していくことで全体のレベルアップを図る狙いです。2010年度から本格的な運用を開始し、2012年度までに「カシオグリーンスター商品」の売上比率を30%とすることを掲げました。認定した製品には環境配慮型商品の証として、グリーンスターマークを表示します。

### カシオグリーンスター商品の商品化率

2009年度に認定されたカシオグリーンスター商品の、全商品に占める比率は15.8%となりました。

カシオグリーンスターコンセプトイメージ図



グリーン商品評価	グリーンスター商品評価
1.再資源化の促進(材料表示)	1.使用時の消費電力を20%以上削減
2.リサイクル設計	2.太陽電池使用とエコマーク取得
3.単一素材部品への分離	3.太陽電池使用
4.再資源化の向上	4.10年バッテリー搭載
5.資源の減容化	5.本体体積で20%以上削減
6.資源の減量化	6.重量で20%以上削減
7.省エネ化	7.個装箱の小型化による積載率で20%以上削減
8.化学物質の使用規制	8.再生プラスチック総重量比30%以上使用
9.電池の再資源化	9.バイオプラスチックを25%以上使用
10.電池のリサイクル表示	10.特定有害化学物質廃止(塩ビ)
11.法規制準拠	11.LCA環境影響評価で従来比10%以上の改善
12.単一分別・分解	12.製品環境効率で従来比10%以上の改善
13.梱包材の使用規制	13.環境性能を著しく貢献する機能など
14.自然環境保護	14.IT化による資源の削減に貢献できる機能
	●グリーン商品基準を満たし、上記項目に該当ありの場合

※ただし、一部品目でカシオグリーンスター認定基準に変動あり。  
※環境の変化に伴い定期的に基準を見直します。

## 根付かせたい環境配慮型の設計思想

各国の環境法規制に適合させることは当然ですが、カシオとしてのより厳しい社内基準を定めることで、高度な環境配慮型の設計思想を根付かせたい。既に省電力など究極に近い製品も多いのですが、これ以上は無理という常識を打ち破るのがカシオの伝統。私たちが環境の先駆者的な存在として輝かなければいけない。そのような想いを込めて制定したのがグリーンスター商品なのです。



環境センター 相川 佳昭